

～登壇者ご紹介～

鶴田 浩久

国土交通省 大臣官房 公共交通・物流政策審議官



<略歴>

1990年東京大学法学部卒業、1999年ロンドン大学LSE大学院修士課程修了。
1990年運輸省入省後、大臣官房、近畿運輸局、鉄道局、運輸政策局、国土交通省航空局、鉄道局、外務省OECD日本政府代表部、国土交通省大臣官房、観光庁、航空局、自動車局、東京航空局長、内閣官房内閣審議官、国土交通省航空局航空ネットワーク部長、鉄道局次長などを経て、2022年より現職。
この間、汐留の不動産証券化、阪神・淡路大震災の現場対応、旧国鉄債務の最終処理、海外留学の後、交通バリアフリーの法制化、首都圏空港の機能強化、都市鉄道の接続新線整備、海外勤務の後、人事・大臣秘書官、インフラ海外展開ファンド「JOIN」の創設、貸切バスの安全法制強化、再び首都圏空港の機能強化、バリアフリー法の拡充、コロナ禍のエアライン・空港会社支援、新幹線の整備、地域公共交通のリ・デザイン等に携わる。